お願いとご注意

— 重要なお知らせ —

SoftBank 107SH

このたびは、SoftBank 107SHをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

SoftBank 107SHをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。

SoftBank 107SHは、3G方式に対応しております。
本機は3Gエリア専用の世界対応ケータイです。
サービスの詳細については、お問い合わせ先までご連絡ください。

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。

目次

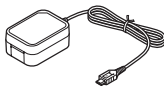
※お問い合わせ先一覧は裏表紙に記載しています。

この印刷物は再生紙を使用しています。

お買い上げ品の確認

■107SH本体

■電池パック（SHBEM1）

■ACアダプタ（SHCEJ1）

■PC接続用microUSBケーブル（SHDDL1）

■クイックスタート

■お願いとご注意（本書）

■保証書（本体、ACアダプタ）

■microSDカード※（試供品）

※お買い上げ時には、本機に取り付けられています。

※本書ではmicroSDカード（microSDHCカードを含む）を、以降「**SDカード**」と記載いたします。

関連情報のご紹介

■**本機の使いかたや機能を詳しく知りたいとき**

- 本機に内蔵されている「**使い方ガイド**」（アプリ）をご活用ください。
  - ■ステータスバーを下向きにドラッグ➡通知パネルの「使い方ガイドはこちら」➡画面の指示に従って操作
- 下記の「**オンラインマニュアル**」もご利用ください。
  - ■本機から（パケット通信料が必要）
    アプリケーションシートで（ブラウザ）➡➡「ブックマーク一覧」➡「オンラインマニュアル」
  - ■パソコンから
    http://www.softbank.jp/mb/r/support/107sh/

■**USBドライバ入手先**

本機とパソコンを「**高速転送モード**」で接続するときは、あらかじめパソコンにUSBドライバをインストールしておく必要があります。下記のパソコン用サイトから入手してください。

http://k-tai.sharp.co.jp/support/download/s/#!/soft_utility

■**ソフトバンクモバイルホームページ**　http://www.softbank.jp

■**外部機器連携ガイド（パソコン用）**

http://k-tai.sharp.co.jp/support/s/107sh/peripherals.html#prContent

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

ルールを守りましょう

本機の使いかたを誤ると、機器の発熱・破壊・感電といった危険を伴い、死亡または重傷を負う恐れがあります。以下の内容および「安全上のご注意」（☞22ページ）をお読みのうえ、正しくお使いください。

こんな使いかたはやめましょう

■充電端子を接触させせない

金属製のストラップやヘアピンなどで充電端子どうしを接触させると非常に危険です。持ち運び時にも十分ご注意ください。

■分解／改造しない

キャビネットを開けたり改造しないでください。感電やけがの原因となります。修理などはソフトバンクにご依頼ください。

■防水を過信しない

防水であっても、水中に沈めたり大量の水をかけると、内部に水が入り火災や感電の原因となります。また、真水以外はかけないでください。

■加熱しない

乾燥などの目的で、電子レンジなどの加熱調理機器に入れないでください。また、高温になる場所で使用しないでください。

■指定品以外は使用しない

充電器／電池パックなどは必ずソフトバンク指定のものをお使いください。

■電池パックは特に注意

電池パックは取り扱いを誤ると、漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

■運転中は使用しない

自動車などの運転中は絶対に使用しないでください。メールを見るだけで処罰の対象となります。

こんな場所では電源を切りましょう

■航空機内

運航の安全に支障をきたす可能性があります（航空機内で携帯電話を使用できるときは、航空会社の指示に従い、適切にご使用ください）。

■病院内

医用電気機器に影響を及ぼす可能性があります。

■満員電車など

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいると、誤動作などの影響を与えることがあります。

マナーを守りましょう

**本機をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。
次のような場所では、特にご注意ください。**

■電車やバスなどの交通機関

車内のアナウンスや掲示に従いましょう。

■劇場や映画館、美術館など

周囲の迷惑にならないよう電源を切っておきましょう。

■レストランやホテルのロビーなど

静かな場所では、大きな声での通話は控えましょう。

■街の中

通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための便利な機能

マナーモード

着信があったりアラームが動作しても、本機から音が出ないようにします。

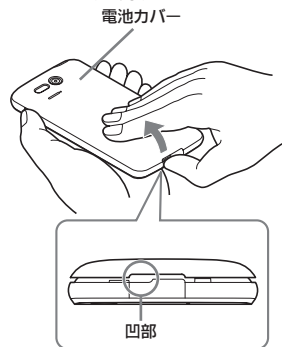
簡易留守録

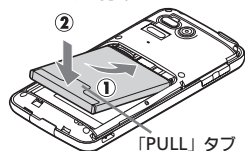
電話に出られないとき、相手のメッセージを本機に録音します。

機内モード

電源を入れたまま、電波の送受信だけを停止します。

電池パックの取り付け／取り外し

電池パックを取り付ける

❶ 電池カバーを取り外す

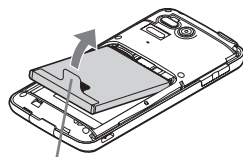
- 凹部に指をかけ、電池カバーと本体の間にすきまを作ります。凹部のすきまから本体の外周にそって、指で少しずつ電池カバーを浮かせるようにして取り外します。

❷ 電池パックを取り付ける

- 「PULL」タブがある面を上にして、電池パックと本体の充電端子同士を合わせます。
- 「PULL」タブを電池カバーにはさみ込まないよう、注意してください。

❸ 電池カバーを取り付ける

- 本体と電池カバーを合わせたあと、浮いている箇所がないように、図の斜線部分を指でしっかりと押さえます。
- 電池カバーが完全に取り付けられているかを確認してください。パッキンとの接触面に細かいゴミなどがはさまると、水や粉塵が侵入する原因となります。

電池パックを取り外す

本機の電源を切り、「PULL」タブを指にはさみ、電池パックをゆっくりと持ち上げます。

- 電池パック取り付け時に電池カバーにはさみ込まないよう、「PULL」タブは黒塗り部に戻しておいてください。
- 「PULL」タブがちぎれ、電池パックを取り外せなくなったときは、「**ソフトバンクショップ**」までご連絡ください。

電池カバーについて

- 電池カバーが正しく装着されていないと、防水／防塵性能が保証できませんのでご注意ください。
- 電池カバーに無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- 電池カバーが破損したときは、電池カバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池パックの腐食など、故障の原因となります。

電池パックについて

- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置しないでください。お客様が登録・設定した内容が消失または変化したり、電池パックが使用できなくなることがあります。長期間保管・放置するときは、半年に1回程度補充電を行ってください。
- 電池パックの使用条件によって、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れることがありますが、安全上問題はありません。
- 電池パックは消耗品です。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。
- 電池パックや本機の充電端子が汚れたら、乾いたきれいな綿棒などで清掃してください。そのままにしておくと、充電ができなくなるなど接触不良の原因となります。
- 電池パックは防水／防塵対応していません。

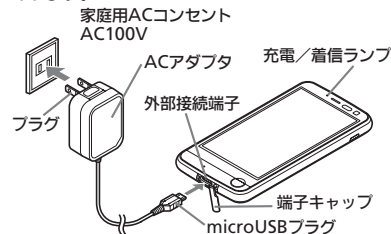
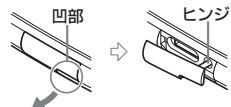
リチウムイオン電池について

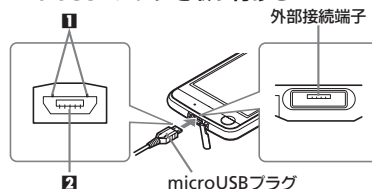
- 本機は、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
  - ■リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
  - ■リサイクルのときは、ショートさせたり、分解しないでください。火災・感電の原因となります。

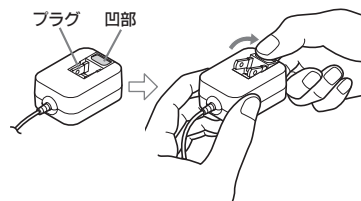
電池パックの充電

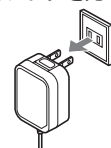
ACアダプタを利用する

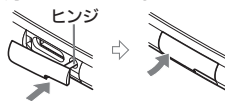
ACアダプタで充電する方法を説明します。

- ACアダプタは、防水／防塵対応していません。本機が濡れているときは、充電しないでください。
- 充電中は、本機やACアダプタが温かくなることがあります。

❶ 本機の端子キャップを開く

- 端子キャップの凹部に指をかけ、手前に引き出すようにして開きます。凹部と反対側を持って端子キャップを引っ張ると、ヒンジが破損する恐れがありますのでご注意ください。

❷ 本機の外部接続端子に、ACアダプタのmicroUSBプラグを取り付ける

- microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本機の外部接続端子が破損することがあります。プラグの形状と向きをよく確かめて、突起1と差し込み口2を上にして差し込んでください。

❸ ACアダプタのプラグを起こし、家庭用ACコンセントに差し込む

- 凹部に親指をかけて矢印の方向にプラグを起こします。
- 充電が始まり、充電／着信ランプが点灯します。
- 充電／着信ランプが消灯すれば、充電は完了です。

❹ ACアダプタのプラグを家庭用ACコンセントから抜き、プラグを元の状態に戻す

❺ 本機から、ACアダプタのmicroUSBプラグを取り外す

❻ 本機の端子キャップを閉じる

- 端子キャップは確実に閉じてください。パッキンとの接触面に細かいゴミなどがはさまると、水や粉塵が侵入する原因となります。

ACアダプタ利用時のご注意

- 充電するときを除き、プラグは倒してください。また、コードを強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。

外部接続端子キャップについて

- ヒンジを収納しないまま無理に閉じると、端子キャップが変形することがあります。防水／防塵機能が損なわれますのでご注意ください。

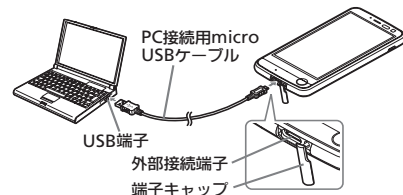
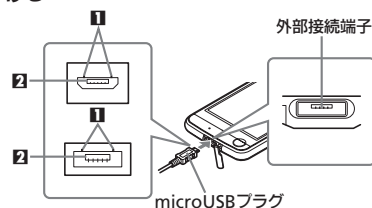
充電／着信ランプが点滅しているとき

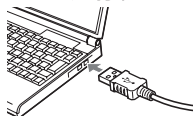
- 電池パックの異常か寿命のため、充電できていません。新しい電池パックと交換してください。

海外での充電について

- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

PC接続用microUSBケーブルを利用する

PC接続用microUSBケーブルで本機とパソコンを接続すると、パソコンのUSB端子からの電力で本機を充電できます。

❶ 本機の端子キャップを開き、外部接続端子にPC接続用microUSBケーブルを取り付ける

- 本機に対応しているmicroUSBプラグの形状は、お買い上げ品によって異なります（2種類あります）。
- microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本機の外部接続端子が破損することがあります。プラグの形状と向きをよく確かめて、突起1と差し込み口2を上にして差し込んでください。

2 パソコンのUSB端子に、PC接続用microUSBケーブルを取り付ける

- 充電後は、本機からPC接続用microUSBケーブルを取り外したあと、端子キャップを閉じてください。

USB充電利用時のご注意

- PC接続用microUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続すると、自動的に本機の電源が入ることがあります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では本機とパソコンの接続を行わないようご注意ください。
- 接続環境やパソコンの状態によっては、充電できなかったり、充電に時間がかかることがあります。
- 充電時間は、家庭用ACコンセントで充電したときよりも長くなります。

電池パックの消耗を軽減する

次の操作を行うと、電池パックの消耗を軽減できます。

1 アプリケーションシートで(設定)

2 「省エネ設定」

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

3 「技あり」/「お助け」

4 「OK」

省エネ設定について

- 設定モードは、「**標準**」/「**技あり**」/「**お助け**」の3つから選べます。
- 「**技あり**」/「**お助け**」を選択した場合は、いくつかの機能が制限されます。また、「**お助け**」では画面の明るさが抑えられ、Wi-FiやGPSなどの通信機能が無効になります。
- 各モードの「**編集**」または「**確認**」をタップすると、設定内容の編集/確認ができます(「**お助け**」は、確認のみ行えます)。
- 設定項目「**省エネ待受**」では、画面消灯時バックグラウンドで動くアプリケーションの動作を制限します(アプリケーションによっては、画面消灯時に正しく動作しないことがあります)。
  「**技あり**」では、次の操作で制限するアプリケーションを個別に設定することもできます。
  「技あり」の「編集」➡「省エネ待受」の「?」➡「詳細」➡画面の指示に従って操作
- 定期的に通信をするアプリケーションの中には、「**技あり**」/「**お助け**」から「**標準**」に設定した場合、通信を開始しないものがあります。このときは、(長押し)で本機を再起動してください。

SDカードの取り付け/取り外し

試供品のSDカードについて

お買い上げ時には、試供品のSDカードが取り付けられています。

- 試供品のSDカードは、保証の対象外となります。

SDカード利用時のご注意

- SDカードを無理に取り付けたり、取り外したりしないでください。
- SDカードは、小さなお子様の手の届かない所で保管/使用してください。誤って飲み込むと、窒息する恐れがあります。
- 端子面に手や金属で触れないでください。
- SDカードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- データの読み出し中や書き込み中は、絶対に本機の電源を切ったり、電池パックを取り外したりしないでください。
- データの消去や上書きなどにご注意ください。

SDカードの認識を解除する

SDカードを取り外す前に、必ず行ってください。

1 アプリケーションシートで(設定)

2 「microSDと端末容量」

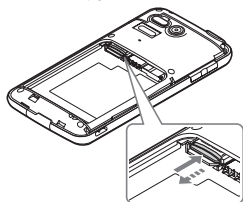
3 「microSDのマウント解除」

4 「OK」

SDカードを取り外す

必ずSDカードの認識（マウント）を解除したあと、本機の電源を切った状態で行ってください。

❶ **電池カバーを取り外す（☞4ページ「電池パックを取り付ける」操作❶）**

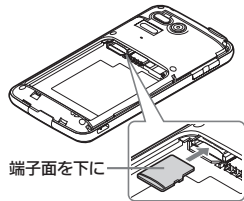
❷ **電池パックを取り外す（☞5ページ「電池パックを取り外す」）**

❸ **SDカードを取り外す**

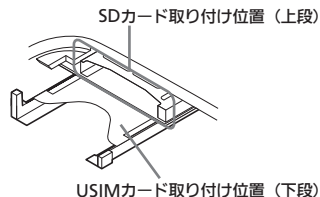
- SDカードを軽く押し込んだあと、手を離します。SDカードが少し飛び出てきますので、ゆっくりと水平に引き抜いてください。

❹ **電池パックと電池カバーを取り付ける（☞4ページ「電池パックを取り付ける」操作❷以降）**

SDカードを取り付ける

「SDカードを取り外す」操作❸で、端子面を下にして、SDカードを奥までゆっくりと水平に差し込みます。

- 必ず本機の電源を切った状態で行ってください。
- SDカード以外のものは取り付けないでください。

■ **SDカード取り付け位置について**

SDカード取り付け位置は、USIMカード取り付け位置との上下２段構造となっています。
SDカードを、誤ってUSIMカード取り付け位置に差し込まないよう、ご注意ください。

ソフトウェア更新

ネットワークを利用して本機のソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには手動で更新できます。

- お買い上げ時は「**自動更新する**」に設定されています。

ソフトウェア更新を行う前に

- 本機の状況（故障・破損・水濡れなど）によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。必要なデータは、ソフトウェア更新前にバックアップしておくことをおすすめします。なお、データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ソフトウェア更新についてのご注意

- 更新が完了するまで、本機は使用できません。
- 電波状態のよい所で、移動せずに操作してください。また、電池残量が十分ある状態で操作してください。更新途中に電波状態が悪くなったり、電池残量がなくなると、更新に失敗することがあります（更新に失敗すると本機が使用できなくなることがあります）。
- 他の機能を操作しているときは、ソフトウェア更新は行えません。
- 本機にPC接続用microUSBケーブルを接続しているときは、取り外してください。そのままでソフトウェア更新を実行すると、正しく完了できないことがあります。

手動でソフトウェア更新する

❶ **アプリケーションシートで（設定）**

❷ **「端末情報」**

❸ **「ソフトウェア更新」**

❹ **「ソフトウェア更新」➡「実行」**

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

自動更新の開始時刻を変更するとき

- 操作❹で「**更新時刻設定**」をタップし、開始時刻を変更します。

■ **ソフトウェア更新が完了すると**

ソフトウェア書き換え完了画面が表示されたあと、自動的に再起動します。

- 再起動後、更新完了のメッセージとインフォメーションが表示されます。

ソフトウェア更新後に再起動しなかったとき

- 電池パックをいったん取り外したあと再度取り付け、電源を入れ直してください。それでも起動しないときは、ご契約のソフトバンクの故障受付（☞裏表紙）にご相談ください。

防水／防塵性能について

本機の防水／防塵性能

本機は、端子キャップをしっかりと閉じ、電池カバーを取り付けた状態で、IPX5（旧JIS保護等級5）※1、IPX7（旧JIS保護等級7）※2相当の防水性能およびIP5X（JIS保護等級5）※3相当の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところに電話機を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- 本機は、IPX5／IPX7の防水およびIP5Xの防塵性能を有していますが、ホコリ、砂、泥、金属粉、食べこぼし、清涼飲料水などが入った場合には、故障の原因となることがあります。

本機のお取り扱いについて

- **電池カバーは確実に取り付け、端子キャップはしっかりと閉じてください。パッキンとの接触面に細かいゴミ（髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など）がはさまると、水や粉塵が侵入する原因となります。**
- **端子キャップや電池カバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外してください。**
- **本機が濡れているときは、乾いたきれいな布でふき取ってください。**
- **手や本機が濡れているときに、電池カバーや端子キャップの開閉は絶対にしないでください。**
- **イヤホンマイクは、端子部が濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水／防塵性能が損なわれるなど、故障の原因となります。**
- **常温（5℃～35℃）の真水・水道水にのみ対応しています。**

本機の防塵性能について

- **本機の防塵性能はIP5X相当の保護度合いを保証するものであり、砂浜の上に直接置くなどの利用方法に対して保証するものではありません。**
- **塵埃が本機に付着した際にはただちに水で洗い流すなどして完全に塵埃を除去してからご使用ください。**
- **塵埃が本機に付着した状態で使用されると、画面が表示されなくなるなど重大な故障をきたす場合があります。**

使用時のご注意

- 本機に次のような液体をかけたり、つけたりしないでください。
  - ■石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水
  - ■海水、プールの水
  - ■温泉、熱湯　など
- 海水やプールの水、清涼飲料水などがかかったり、ホコリ、砂、泥などが付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、故障の原因となります。
- 砂や泥などがきれいに洗い流せていない状態で使用すると、本体に傷がついたり、破損するなど故障の原因となります。
- 湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください（キー操作を含む）。
- 本機は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水（6リットル／分を超える）を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 風呂場など湿気の多い場所には、長時間放置しないでください。また、風呂場で長時間利用しないでください。
- サウナでは使用しないでください。また、ドライヤーなどの温風はあてないでください。
- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～90%の範囲でご使用ください（風呂場などでの一時的な使用に限り、温度36℃～40℃の範囲で可能）。
- コンロの脇や冷蔵庫の中など極端に高温・低温になるところに置かないでください。
- 送話口、受話口、スピーカー部の穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなることがあります。十分に水抜きと乾燥（☞15ページ）を行ったうえでご使用ください。
- 電池パック・オプション品は、防水／防塵対応していません。
- 落下させるなど、本体に強い衝撃を与えたり、送話口、受話口、スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。防水／防塵性能が損なわれることがあります。
- 砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。受話口、スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなる恐れがあります。
- タッチパネルに水滴が付いている状態や濡れた指でタッチ操作を行った場合、正しく動作しないことがあります。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへは本機が常温になってから持ち込んでください。万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- 本機は水に浮きません。
- 強い雨の中では使用しないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 電池カバーや端子キャップに劣化、破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。これらのときは、「**ソフトバンクショップ**」までご連絡ください。

充電時のご注意

- 充電器・オプション品は、防水／防塵対応していません。屋外や風呂場、洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、風呂場などに持ち込まないでください。
- 本機が濡れているときは絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 充電後は、しっかりと端子キャップを閉じてください。

- 濡れた手で充電器に触れないでください。感電の原因となります。
- 充電器は、水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 万一、外部接続端子部に水が侵入したときは絶対に充電しないでください。
  充電する前には、必ず次の作業を行ってください。
  1 本体をしっかりと持ち、20回程度振る
  2 外部接続端子部のすき間に入った水分を、乾いた布などに押し当ててふき取る
  3 乾いた布などを下に敷き、2〜3時間程度常温で放置する

防水／防塵性能を維持するために

- 端子キャップや電池パック周囲（電池カバー側）のゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するための重要な役割を担っています。次のことにご注意ください。
  - ■はがしたり、傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
  - ■端子キャップや電池カバーのすき間、イヤホンマイク端子部に、先のとがったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、水や粉塵が侵入する原因となることがあります。
  - ■端子キャップや電池パック周囲（電池カバー側）のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりしたときは、「**ソフトバンクショップ**」にご相談ください。
- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回、部品を交換することをおすすめします。
  お客様ご依頼による部品の交換は、本機をお預かりして有料にて承ります。「**お問い合わせ先**」（☞裏表紙）または「**ソフトバンクショップ**」へご相談ください。

本機の洗いかた

本機に汚れ、ホコリ、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流［6リットル／分以下、常温（5℃〜35℃）の水道水］で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。電池カバーを取り付けた状態で、端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください。

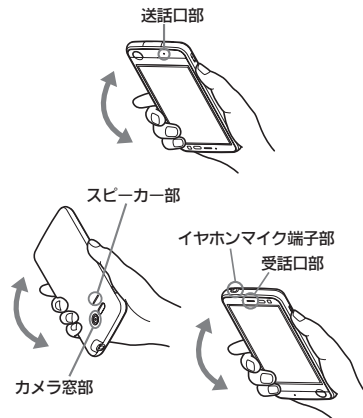
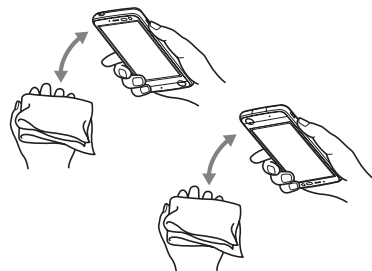
- 電池カバーや端子キャップが、きちんと閉まっていることを確認してから洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- イヤホンマイク端子部は、特にホコリや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は十分に乾燥したことを確認したうえでご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になりますと、故障の原因となります。
- イヤホンマイク端子部を洗うときは、めん棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水／防塵性能が損なわれるなど、故障の原因となります。
- 乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本機を発熱・発煙・発火させたり回路部品を破壊させる原因となります。
- 乾燥のためにドライヤーの温風をあてたり、高温環境に放置しないでください。本機の変形、変色、故障などの原因となります。

水抜きのしかた

水に濡れたあとは、必ず「**イヤホンマイク端子部**」、「**受話口部**」、「**送話口部**」、「**スピーカー部**」、「**カメラ窓部**」の水抜きを行ってください。

- 本機を振るときは、落とさないようにしっかりと握ってください。

❶ 本機表面の水分を乾いた布などでふく

❷ 本機をしっかりと持ち、20回程度振る

❸ 各部のすき間に入った水分を、乾いた布などに押し当ててふき取る

- 各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出してください。
- 開口部の水を抜く際は、布や綿棒などを内部に押し込んだりしないでください。

❹ 乾いた布などを下に敷き、2〜3時間程度常温で放置する

水抜き後のご注意

- 水滴が付着したままで使用しないでください。
  - ■通話不良となったり、衣服やカバンなどを濡らしてしまうことがあります。
  - ■イヤホンマイクなどの端子部がショートする恐れがあります。
  - ■寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

ご使用にあたって

本機の放射線測定機能は、ご家庭で身のまわりの空間の放射線量（ガンマ線）を簡易に把握する目的のものです。それ以外の目的で使用しないでください。

- 本機では、食料品や水に含まれる放射性物質の測定はできません。
- 本機の放射線測定機能の故障による損害、測定された数値による損害、その他本機能のご使用によりお客様、または第三者が受けられた損害につきましては、シャープ株式会社およびソフトバンクモバイル株式会社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 免責事項および詳細につきましては、下記サイトをご参照ください。
  シャープSH DASHサポートページ http://k-tai.sharp.co.jp/support/

放射線量測定について

- 本体を地面から約1m離して水平に構え、できるだけ静止した状態で測定してください。
- 計測器スペック

測定対象	ガンマ線（Cs-137を基準とする）
測定範囲	0.05～9.99マイクロシーベルト／時
誤差（相対標準偏差）	±20%
測定時間	最長約40分（放射線量率による）

- 次の方法で測定できます。

＜しっかり測定＞

■ 次の操作で、現在地の放射線量をくわしく測定することができます。

クイック起動キー（長押し）➡「**しっかり測定開始**」

（例）0.06マイクロシーベルト／時の環境の場合

測定時間	2分経過 ➡	継続（4分） ➡	完了（30分）
測定値※	0.05	0.07	0.06
測定精度（誤差）	☆ ±81%以上	☆☆☆ ±60%～±41%	☆☆☆☆☆ ±20%以内
目安範囲※	0.00～0.10	0.04～0.10	0.05～0.07

※測定値と目安範囲の単位は「**マイクロシーベルト／時**」です。

＜常時測定＞

■ リアルタイム（10秒周期で更新）で放射線量の目安を測定します（お買い上げ時：ON）。
放射線量率の測定値とレベルを確認できます。

使用時のご注意

- 放射線測定機能は、身のまわりの空間の放射線（ガンマ線）の線量率を簡易に把握するものです。
- 放射線量率は刻々と変化するものであり、再現性に乏しい性質があります。
- 本機能は、測定した数値を保証するものではなく、ビジネス用途には向いていません。
- 高い放射線量率が測定された場合は、放射線測定専用機による測定をおすすめします。
- 電子レンジや蛍光灯、イオン発生装置の近くでは、使用しないでください。ノイズや電磁波の影響で正しい測定ができないことがあります。
- 測定中、大きな振動や衝撃を与えないでください。正しい測定ができないことがあります。
- 測定中に、急激な振動、急激な線量の変化があると測定を中止することがあります。この場合は、再度測定してください。
- 他のアプリケーションを同時に動作するなど、放射線測定に影響する使用状態のときは、測定できないことがあります。
- 地面などに直接置いて測定しないでください。付着物により、以後の測定が正しく行われなくなる可能性があります。万一、汚れが付着した場合はすみやかに水で洗い流すなどして、清潔を保ってください。
- 「**しっかり測定**」の測定精度は、測定時間により異なります。特に、放射線量が低い環境では、長時間の測定が必要になります。
- 「**しっかり測定**」では、測定精度を☆の数で示します（☆の数が多い程誤差が小さい）。☆が5つ表示されるまで測定した場合、誤差は±20%となります。
- 「**しっかり測定**」の目安範囲は、測定値±誤差の範囲を示したものです。おおむね、この範囲に入るという目安を示すものであって、必ずこの範囲に入るという意味ではありません。
- 「**しっかり測定**」は、測定開始から約2分経過すると通知音が鳴り、一時結果が表示されます。「**精度を上げる**」をタップすると計測が継続しますので、☆の数を参考に、なるべく長い時間の測定を行ってください。
- 「**常時測定**」は、常に測定するため本体を動かす状態を含みます。また、振動やノイズなどの影響を受け易く、より多くの誤差を含むため、測定精度の保証はできません。個人の参考値として扱ってください。
- 「**常時測定**」は、エコ技設定を「**お助け**」に設定していると、行えません。
- 「**常時測定**」の測定履歴から、累積放射線量を予測できますが、あくまでも予測値であり、正しい累積放射線量は個人線量計（積算線量計）による測定をおすすめします。
- 本機に搭載された放射線測定モジュールは、計量法に基づき校正された標準モジュールを基準として、校正・検査を行っています（校正誤差±10%以内）。
- 本機に搭載された放射線測定アプリケーションは、慶應義塾大学の地球環境スキャニングプロジェクトにより監修されています。

暗証番号について

本機の使用にあたっては、次の暗証番号が必要となります。

操作用暗証番号	各機能を利用するときの暗証番号です（お買い上げ時は設定なし）。
ロックNo.	画面ロックの解除を行うときに使う暗証番号です。
交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）	ご契約時の4ケタの番号です。契約内容の変更、オプションサービスを一般電話から操作するとき、発着信規制サービスの設定を行うときに使います。

暗証番号はお忘れにならないよう、他人に知られないようご注意ください。

他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要となります。詳しくは、ソフトバンクモバイルホームページ（☞1ページ）を参照してください。

暗証番号の入力間違いについて

- 各機能で暗証番号の入力を間違えると、間違いを知らせるメッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）の入力を3回間違えたときは、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。このときは、交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）の変更が必要となりますのでご注意ください。
  - ■以前、携帯電話から発着信規制用暗証番号を変更されたお客様は、発着信規制を設定する際に、その変更後の番号を入力してください。

操作用暗証番号を設定する

1. **アプリケーションシートで（設定）**
2. **「その他の設定」**
3. **「ロックとセキュリティ」**
4. **「操作用暗証番号設定」➡「OK」**
   - 入力方式についての画面が表示されたときは、「閉じる」をタップします。
5. **設定する操作用暗証番号入力➡「OK」**
6. **設定する操作用暗証番号を再度入力➡「OK」**
7. **「OK」**

PINコードについて

PINコードとは、USIMカードの暗証番号です。第三者による本機の無断使用を防ぐために使います（USIMカードお買い上げ時は「9999」に設定されています）。

- 電源を入れたとき、PINコードを入力しないと本機を使用できないように（USIMカードをロック）することができます。

PINコードを変更する（USIMカードをロック）

1. **アプリケーションシートで（設定）**
2. **「その他の設定」**
3. **「ロックとセキュリティ」**
4. **「USIMカードロック設定」**
5. **「USIMカードをロック」**
   - 入力方式についての画面が表示されたときは、「閉じる」をタップします。
6. **現在のPINコード入力➡「OK」**
   - 「USIMカードをロック」の欄にチェックが入り（USIMカードロックが有効となり）、PINコードを変更できる状態となります。
7. **「USIM PINの変更」**
8. **現在のPINコード入力➡「OK」**
9. **新しいPINコード入力➡「OK」**
10. **新しいPINコードを再度入力➡「OK」**

PINコードの入力間違いについて

- PINコードの入力を3回間違えると、PINロックが設定され、本機の使用が制限されます。

PINロックを解除するとき

- お問い合わせ先（☞裏表紙）で、「**PINロック解除コード（PUKコード）**」を確認のうえ、次の操作を行ってください。

  PUKコード入力➡「OK」➡新しいPINコード入力➡「OK」➡新しいPINコードを再度入力➡「OK」

  - ■PUKコードの入力を10回間違えると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。このときは、「**ソフトバンクショップ**」にてUSIMカードの再発行（有償）が必要になりますので、ご注意ください。

おもな仕様

仕様変更などにより、内容が一部異なることがあります。

107SH本体

質量	本体：約87g 電池パック装着時：約116g
連続通話時間※1	約530分（3Gモード）
連続待受時間※2	約500時間（3Gモード）
ワンセグ連続視聴時間※3	約8時間
充電時間（本機の電源を切って充電した場合）	ACアダプタ：約190分 シガーライター充電器：約250分
サイズ（幅×高さ×奥行）	約58×115×12mm（突起部 除く）
最大出力	0.25W（3Gモード）

※1 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。

※2 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。データ通信／緊急速報メールを無効に設定したときの数値です。また使用環境（充電状況、気温など）や機能の設定状況などにより、ご利用時間が変動することがあります。

※3 ワンセグ連続視聴時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、AVポジション「**標準**」、サウンド設定「**OFF**」、画面サイズ設定「**標準**」の条件で、別売のマイク付ステレオイヤホンを使用し、電池残量約10%を残した計算値です。

- 左記の時間は、エコバックライトコントロールを「**OFF**」、アウトドアビューを「**ON**」、画面の明るさを「**21段階中の11段階目**」、放射線常時測定を「**OFF**」に設定したときの数値です。
- お使いの場所や状況、設定内容によって、左記の時間は変動します。
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。

付属品

■電池パック（SHBEM1）

電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	1,460mAh
外形サイズ（幅×高さ×奥行）	約45.2×53.8×4.9mm（突起部 除く）

■ACアダプタ（SHCEJ1）

電源	AC100V-240V、50／60Hz共用
消費電力	9W
出力電圧／出力電流	DC5.0V／1.0A
充電温度範囲	5℃ ～ 35℃
サイズ（幅×高さ×奥行）	約40×53×23mm（突起部、コード除く）
コードの長さ	約1.5m

■PC接続用microUSBケーブル（SHDDL1）

充電温度範囲	5℃ ～ 35℃
ケーブルの長さ	約80cm
使用プラグ	standard-A、Micro-B

使用材料

107SH本体

使用箇所	使用材料／表面処理
キャビネット（ディスプレイ側、電池パック側）	PC樹脂＋GF樹脂／UV塗装
電池カバー、送話口飾り、サイドキー（電源キー、音量Up／Downキー）、クイック起動キー	PC樹脂／UV塗装
電池カバー（パッキン部分）	シリコンゴム
キャビ飾り（ディスプレイ周り）	ABS樹脂／UV塗装
ディスプレイ窓	強化ガラス／表面防汚処理
カメラ窓	アクリル樹脂／裏面印刷
赤外線ポート	ABS樹脂
外部接続端子キャップ	PC樹脂+エラストマー樹脂／UV塗装
外部接続端子キャップ（パッキン部分）	シリコンゴム
充電端子（電池パック接続部分）	LCP＋銅合金／金メッキ
イヤホンマイク端子	PA樹脂＋GF樹脂
microUSIMトレイ	LCP+ステンレス
ネジ	ステンレス／不動態化処理

付属品

■電池パック（SHBEM1）

使用材料／表面処理	PC樹脂／金メッキ

■ACアダプタ（SHCEJ1）

使用材料／表面処理	PC樹脂＋MBS樹脂＋PBT樹脂＋TPE樹脂＋銅合金＋SUS／Niメッキ

■PC接続用microUSBケーブル（SHDDL1）

使用材料／表面処理	エラストマー樹脂＋熱可塑性ポリウレタン／ニッケルメッキ

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

区分	内容
⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、**「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」**内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、**「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」**内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

絵表示	内容
禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、電池パック、充電器(オプション品含む)、USIMカード、PC接続用microUSBケーブル、SDカードの取り扱いについて(共通)

⚠ 危険

本機に使用する電池パック・充電器(オプション品含む)・PC接続用microUSBケーブルは、ソフトバンクが指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。
火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

本機内部・電池パック・充電器を濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が本体内部に入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で充電・使用・放置しないでください。
また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所(こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など)においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。
機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

警告

本機のディスプレイ部には強化ガラスを使用していますが、落下などによる衝撃や無理な力は加えないでください。
ディスプレイが破損し、ガラスが鋭利な破片となって、激しく飛散する恐れがあります。万一、破損した場合は、破片や破損部分に直接手を触れないようご注意ください。けがの原因となります。

本機・電池パック・充電器を、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機・充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

禁止

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。

ガスに引火する恐れがあります。ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ® 対応携帯電話をご利用になる際は、電源を切った状態で使用してください（おサイフケータイロックを設定されている場合は、ロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

禁止

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

1. コンセントやシガーライターソケットから充電器を持ってプラグを抜いてください。
2. 本機の電源を切ってください。
3. やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

指示

外部接続端子に、水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障などの原因となります。

禁止

本機が濡れている状態で充電しないでください。
感電やショートによる火災・故障などの原因となります。

禁止

乾燥などの目的で、ドライヤーなどの温風をあてないでください。また、サウナに持ち込んだり、熱湯をかけたりしないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機・充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

禁止

注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。

禁止

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

指示

電池パックの取り扱いについて

危険

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止

電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止

電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。
失明などの原因となります。

指示

警告

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示

電池パックの使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。

指示

異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

指示

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

注意

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

禁止

端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。

電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

指示

本製品では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります（使用材料：☞21ページ）。

本機の取り扱いについて

警告

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。

禁止

交通事故の原因となります。

乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。

運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

指示

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。

指示

機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社（の乗務員）の指示に従い適切にご使用ください。

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。

指示

心臓に影響を与える恐れがあります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

指示

落雷や感電の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

禁止

目に影響を与える可能性があります。

注意

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

禁止

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

指示

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります（使用材料：☞21ページ）。

本機に磁気カードなどを近づけないでください。

禁止

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

ストラップなどを持って本機を振り回さないでください。

禁止

本人や周囲の人に当ったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。

指示

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

禁止

難聴になる可能性があります。

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。

指示

視力低下につながる可能性があります。

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。

指示

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳を痛めたりする原因となります。

充電器（オプション品含む）の取り扱いについて

警告

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

禁止

熱がこもって火災や故障などの原因となります。

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。

禁止

指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。

- ACアダプタ：AC100V〜240V（家庭用ACコンセント専用）
- シガーライター充電器（オプション品）：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

また、海外旅行用として、市販されている「**変圧器**」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

感電・火災・故障の原因となります。

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持って、コンセントやシガーライターソケットからプラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

感電・発煙・火災の原因となります。

プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などでふき取ってください。

指示

火災の原因となります。

充電器をコンセントに差し込むときは、充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。

指示

感電・ショート・火災などの原因となります。

濡れた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。

濡れ手禁止

感電や故障などの原因となります。

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。

禁止

感電などの原因となります。

充電器は、風呂場や洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。

禁止

火災・感電・故障の原因となります。

シガーライター充電器（オプション品）は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。

禁止

火災などの原因となります。

シガーライター充電器（オプション品）のヒューズが切れたときは、必ず指定のヒューズに交換してください。

指示

指定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。指定のヒューズに関しては、シガーライター充電器の取扱説明書でご確認ください。

注意

お手入れの際は、コンセントやシガーライターソケットから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

感電などの原因となります。

充電器をコンセントやシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。

指示

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。

充電器をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。

禁止

けがや故障の原因となります。

PC接続用microUSBケーブルの取り扱いについて

注意

使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

指示

本製品では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります（使用材料：☞21ページ）。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「**医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針**」（電波環境協議会［平成9年4月］）に準拠、ならびに「**電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書**」（平成13年3月「**社団法人電波産業会**」）の内容を参考にしたものです。

警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

指示

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。

指示

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。

指示

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

指示

- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

- USIMカードや、USIMカード装着済みの本機を盗難・紛失された場合は、必ずお問い合わせ先（☞裏表紙）までご連絡のうえ、緊急利用停止の手続きを行ってください。
- 事故や故障、修理などにより本機／SDカードに登録したデータ（電話帳・音楽・静止画・動画など）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話やワンセグ視聴が困難になることがあります。また、通話・ワンセグ視聴中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話や映像が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の人たちの迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受（ぼうじゅ）にご注意ください。**
  本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  ■ 傍受とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。
- インターネットのサイトには、悪質なものや有害なものがあります。特に、個人情報の書き込みなどは慎重に行いましょう。
- 本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。
  米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。
- 本機では、Google Inc.が提供する「Google Play™」上より、さまざまなアプリケーションのインストールが可能です。お客様ご自身でインストールされるこれらのアプリケーションの内容（品質、信頼性、合法性、目的適合性、情報の真実性、正確性など）およびそれに起因するすべての不具合（ウイルスなど）につきましては、当社は一切の保証を致しかねます。

技術基準適合証明について

本機は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合しています。次の操作で、技術基準適合証明に関する情報（㊦等）を確認できます。

アプリケーションシートで（設定）➡「端末情報」➡「技術基準適合証明」

カメラについて

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- 大切なシーンを撮影されるときは、必ず試し撮りを行い、画像を表示して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。
- カメラ機能を利用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許可を得ることなく使用したり、転送することはできません。

通話中／通信中のご注意

- 通話中や通信中は、同時に他の機能を使用している間や各種操作を行っている間も通話料、通信料がかかりますので、ご注意ください。
- JavaScript通信やFlash®通信は、通信料が高額になる可能性があります。

緊急速報メールについて

- お買い上げ時、受信設定は「**有効**」に設定されています。
- 受信時には、マナーモードであっても警告音が鳴動します。
- 通話中、通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
- 受信設定を「**有効**」にしている場合は、待受時間が短くなることがあります。
- 当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

SSL／TLSについて

本機には、あらかじめ認証機関から発行された電子的な証明書が登録されており、SSL／TLS（インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法）を利用できます。

- セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合は、お客様は自己の判断と責任においてSSL／TLSを利用するものとします。お客様自身によるSSL／TLSの利用に際し、ソフトバンク、シャープ株式会社および認証会社である日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社は、お客様に対しSSL／TLSの安全性などに関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

Wi-Fi（無線LAN）について

無線LAN（以降「Wi-Fi」と記載）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、第三者に情報を盗み見られてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- 電気製品・AV・OA機器などの近くでは利用しないでください。通信速度の低下や通信不可、雑音などの可能性があります（特に電子レンジ使用時は、影響を受けることがあります）。
- 複数のアクセスポイントが存在するときは、正しく検索できないことがあります。

■使用上の注意事項

本機のWi-Fiの周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「**他の無線局**」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1 Wi-Fiを使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「**他の無線局**」が運用されていないことを目視で確認してください。

2 万一、Wi-Fiの使用にあたり、本機と「**他の無線局**」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Wi-Fiの使用を停止（電波の発射を停止）してください。

3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクカスタマーサポート
ソフトバンク携帯電話から　157（無料）
（一般電話からおかけの場合、裏表紙の「**お問い合わせ先**」を参照してください）

- **周波数帯について**
  この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS/OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40m以下です。

2.4DS/OF4

■Bluetooth®との同時利用について

Wi-Fi（IEEE802.11b/g/n）は、Bluetooth®と同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、近くでBluetooth®機器を利用したり、本機のBluetooth®が有効になっていると、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。接続に支障があるときは、Bluetooth®機器の利用を中止したり、本機のBluetooth®を無効にしてください。

- 本機のWi-Fiで設定できるチャネルは1-13です。これ以外のチャネルのアクセスポイントには接続できませんのでご注意ください。
- 利用可能なチャネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®機能について

Bluetooth®機能の利用時に、データや情報の漏洩により発生した損害につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■使用上の注意事項

本機のBluetooth®機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「**他の無線局**」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1 Bluetooth®機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「**他の無線局**」が運用されていないことを目視で確認してください。

2 万一、Bluetooth®機能の使用にあたり、本機と「**他の無線局**」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。

3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクカスタマーサポート
ソフトバンク携帯電話から　157（無料）
（一般電話からおかけの場合、裏表紙の「**お問い合わせ先**」を参照してください）

- **周波数帯について**
  この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

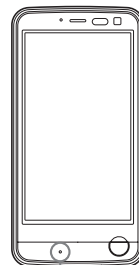
お取り扱いについて

- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～90%の範囲でご使用ください（風呂場などでの一時的な使用に限り、温度36℃～40℃の範囲で可能）。
- 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は本機や電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。
- 端子が汚れていると接触が悪くなり、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などでふいてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 本機のディスプレイを堅い物でこすったり、傷つけないようご注意ください。
- 無理な力がかからないようにお取り扱いください。故障やけがの原因となります。
  - ズボンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり椅子などに座らないでください。特に厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - カバンなどに入れるときは、重たい物の下にならないように十分ご注意ください。
- 端子に指定品以外のものは、取り付けないでください。誤動作したり、破損することがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず電源を切ってから取り外してください。
  データの登録やメールの送信等の動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失・変化・破損などの恐れがあります。
- SDカードの使用中は本機の電源を切らないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げないでください。事故の原因となります。
- 本機を手に持って使用するときは、スピーカーをふさがないようにご注意ください。

タッチパネルについて

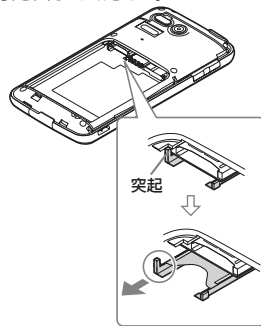
- 次のような操作を行うと、動作しないことがあります。
  - 手袋をした指や爪先での操作
  - ペン、ボールペン、鉛筆など先のとがったものでの操作
  - 異物をタッチパネルに載せたままでの操作
- 誤動作の原因となりますので、次の点にご注意ください。
  - 濡れた指で操作しない
  - タッチパネルに水滴がついている状態で操作しない
  - 強く押し過ぎない
  - タッチパネルに市販のシールなどを貼らない
- タッチパネルに水滴がついているときは、水滴を柔らかい布などでふいてからご使用ください。
- タッチパネルで思うように操作できないときは、次の操作を行ってください。
  アプリケーションシートで（設定）➡「端末情報」➡「タッチパネル補正」➡画面の指示に従って操作
- 次のようなときは、⏻を押して画面を消灯させたあと、再度⏻を押して画面を点灯させてから操作してください。
  - 画面に触れていないのに、本機が勝手に動作するとき
  - 画面に触れても、本機が反応しないとき

送話口について

本機の送話口は次の図の位置にあります。

送話口は非常に小さいため、手で持つときにふさいでしまう可能性があります。通話するときなどにふさいでしまうと、感度が落ちる可能性がありますのでご注意ください。

USIMトレイについて

USIMトレイに強い力を加えたり、斜めに引き出したりしないでください。破損の原因となります。

- USIMトレイは、突起に指をかけて、まっすぐにゆっくりと引き出してください。

USIMカードの取り付け／取り外しについて

USIMカードを取り付け／取り外しするときは、必ず先に本体からSDカードを取り外してください。

- USIMカード取り付け／取り外しの際は、次の点に注意して行ってください。
  - USIMカードは、ICチップのある金属部分を下にして挿入する
  - USIMカードをセットしたあとは、USIMトレイごと奥までしっかりと押し込む
  - USIMカードを取り外すときは、USIMトレイからUSIMカードを手前にスライドさせるようにして行う

イヤホンマイクについて

市販品のイヤホンマイクを使用すると、正常に動作しない場合があります。指定品のマイク付ステレオイヤホン「SHLDL1」(オプション品)をお使いください。

- イヤホンマイク使用時、イヤホンマイク端子部に強い負荷をあたえると防水/防塵性能が損なわれることがありますのでご注意ください。

フリーズ時の対応方法について

本機が、動作を停止したり入力を受け付けなくなったりしたときは、次の操作で本機を再起動してください。

電池パックを取り外す➡取り外したままで数秒間待つ➡電池パックを取り付ける➡⏻(長押し)

オールリセットについて

オールリセットすると、本機内のすべてのデータが消去されます(お買い上げ時にインストールされている一部のアプリケーションも含みます)。

リセットした内容は元に戻せませんので、十分に確認したうえで、操作してください。

アプリケーションシートで🔧(設定)➡「その他の設定」➡「オールリセット」➡「オールリセット」➡操作用暗証番号入力➡「OK」➡「携帯端末をリセット」➡「すべて消去」

- ■「**携帯端末をリセット**」をタップする確認画面で、「**microSD内データを消去**」にチェックを入れると、SDカード内のデータもすべて消去されます。

Picasa™ウェブアルバムログインについてのご注意

Picasaウェブアルバムへのログイン用に設定しているGoogle™ アカウントを、本機のGoogle アカウントとして登録してください。本機にGoogle アカウントを登録したあとに、そのGoogle アカウントを入力してPicasaウェブアルバムのアカウントを新規に取得しても、Picasaは本機のGoogle アカウントの同期項目には表示されません。

知的財産権について

肖像権について

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権(パブリシティ権)があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

著作権について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。この目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「**著作権侵害**」「**著作者人格権侵害**」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本機には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  次の操作で、当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細を確認できます。

  アプリケーションシートで🔧(設定)➡「端末情報」➡「法的情報」➡「オープンソースライセンス」

- GPL、LGPL、Mozilla Public License(MPL)に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。
  詳細は下記サイトをご参照ください。
  https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/

動画の撮影／再生の技術には「**MPEG-4**」が使われています。
This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and noncommercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA.
See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC.
See http://www.mpegla.com for additional details.
本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（ｉ）AVC規格準拠のビデオ（以下「**AVCビデオ**」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ⅱ）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（ｉ）VC-1規格準拠のビデオ（以下「**VC-1ビデオ**」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ⅱ）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

コンテンツ所有者は、Microsoft PlayReady™コンテンツアクセス技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用してPlayReady保護コンテンツおよびWMDRM保護コンテンツにアクセスします。本製品がコンテンツの使用を適切に規制できない場合、PlayReady保護コンテンツを使用するために必要な本製品の機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツや他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツが影響を受けることはありません。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、PlayReadyのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Excel®、PowerPoint®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft® Excel®、Microsoft® Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD, microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

ドキュメントビューアはDataViz社のDocuments To Goを搭載しております。© 2011 DataViz, Inc. and its licensors. All rights reserved.
DataViz, Documents To Go and InTactTechnology are trademarks or registered trademarks of DataViz, Inc.

本機はIrSimple™またはIrSS™機能を搭載しています。IrSimple™、IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。

Bluetooth® is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc.

The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sharp is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.
Bluetooth®は、米国Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。

aptXはCSR plc. の登録商標です。

この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよび®は、シャープ株式会社の登録商標です。

本製品は、無線LAN標準規格のIEEE802.11に基づき、無線LAN機器の相互接続性を保証するためにWi-Fi Alliance®が定めている認証テストをパスしており、「**Wi-Fi CERTIFIED™**」という認定が与えられています。Wi-Fiロゴがついた製品と相互接続が保証されます。IEEE802.11b、IEEE802.11gおよびIEEE802.11nに対応しております。

Wi-Fi Protected Setup™（WPS）で、無線LANの接続設定内容（SSIDや認証方式、暗号キーなど）をプッシュボタン方式、PINコード入力方式で設定できる機能を有しています。

Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WPA®、WPA2®、Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Alliance®の登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Alliance®の商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
FeliCa is a contactless IC card technology developed by Sony Corporation.
FeliCa is a trademark of Sony Corporation.

「**おサイフケータイ**」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Player テクノロジーを搭載しています。
Adobe Flash Player. Copyright © 1996-2012 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
Adobe、FlashおよびFlash ロゴ はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
再生するコンテンツによってはFlash Playerの最新版が必要になる場合があります。

Flash Playerを使用する際には、以下の事項をお守りください。（ⅰ）ソフトウェアを複製、頒布しないこと。（ⅱ）ソフトウェアを改変したり、派生物を作成しないこと。（ⅲ）ソフトウェアを逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、その他ソースコードの解析をしないこと。（ⅳ）ソフトウェアの権利に関する表明をしないこと。（ⅴ）ソフトウェアの使用によって被った間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰的損害、結果的損害等を含む一切の損害の賠償を請求しないこと。

Google、Google ロゴ、Android™、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Google+™、Google+ ロゴ、Gmail™、Gmail ロゴ、カレンダー ロゴ、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google Latitude™、Google Latitude ロゴ、Google トーク™、Google トーク ロゴ、Google マップ ナビ™、Google マップ ナビ ロゴ、Google プレイス™、Google プレイス ロゴ、Google+ ローカル™、Google 音声検索™、Google 音声検索 ロゴ、Picasa、Picasa ロゴ、メッセンジャー ロゴ、YouTube™およびYouTube ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™ は、Digital Living Network Alliance の商標です。
DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
本機のDLNAの認定はシャープ株式会社が取得しました。

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のためにOpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

Portions Copyright © 2004 Intel Corporation
この製品には Intel Corporation のソフトウェアを一部利用しております。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd.2008-2012 All Rights Reserved.
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2012 All Rights Reserved.

本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ Mを搭載しています。*新ゴは株式会社モリサワの登録商標です。

「GALAPAGOS」、「GALAPAGOS STORE」、「AQUOS」、「ベールビュー」、「VeilView」、「ファミリンク」、「FAMILINK」、「MediaJet」、「エコ技」マーク、「エコ技」、「文辞枝」、「アウトドアビュー」、「クイックツールボックス」、「SH SHOW」、「エコバックライトコントロール」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。

- 「ジーニアス英和辞典MX」©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2009
- 「ジーニアス和英辞典MX」©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2009
- 「明鏡国語辞典MX」©KITAHARA Yasuo & Taishukan, 2009

FrameSolid®、PhotoScouter®、TrackSolid®は株式会社モルフォの登録商標または商標です。

「Twitter」の名称、ロゴは、Twitter, Inc. の登録商標です。

「mixi」は株式会社ミクシィの登録商標です。

「Mobage」および「Mobage」ロゴは、株式会社ディー・エヌ・エーの登録商標または商標です。

「スグデコ！」は株式会社アイフリークの登録商標です。

ビューンおよびVIEWNの名称、ロゴは株式会社ビューンの商標です。

MyScript® Stylus Mobileは、ビジョン・オブジェクツS.A.（ビジョンオブジェクツ）の商標です。
MyScript® Stylus Mobile is a trademark of VISION OBJECTS.

Facebook®およびFacebookロゴは、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。

McAfee およびその他のマークは、米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。セキュリティを連想させる赤はMcAfeeブランド製品独自の色です。

AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

Internet SagiWallは、BBソフトサービス株式会社の商標または登録商標です。

「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

CP8 PATENT

デコレメール、S!メール、楽デコ、カバコレ、スマセレ、MUSIC BOXはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

©YOSHIMOTO KOGYO, All Rights Reserved.

その他の記載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

携帯電話機の比吸収率※1（SAR）について

この機種【107SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準※1は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※2の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
この携帯電話機【107SH】の、SARは0.673W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

側頭部以外の位置でご使用になる場合

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインに適合します※3。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 平成9年に（旧）郵政省電気通信技術審議会により答申された「電波防護指針」に規定されています。
※3 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に情報通信審議会より答申されています。

電波ばく露の影響に関する情報として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」
米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、下記のとおりに従って身体に装着した場合は0.538W/kgです。
身体装着の場合：この携帯電話機【107SH】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.0センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.0センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。
上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

CTIA-The Wireless Association®（CTIA）（英文のみ）
http://www.ctia.org/

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」
この携帯電話機【107SH】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.356W/kgです。
SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。
世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関（英文のみ）
http://www.who.int/emf
SoftBank スマートフォン 各機種の電波比吸収率（SAR）一覧はこちら
http://mb.softbank.jp/mb/support/sar/

保証とアフターサービス

■保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書がついております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（電話帳／音楽／静止画／動画など）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

■アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先（☞裏表紙）または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。

その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。
- 本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、生産打ち切り後6年です。

アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先（☞裏表紙）までご連絡ください。

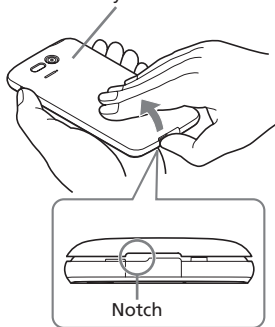
Quick Tips

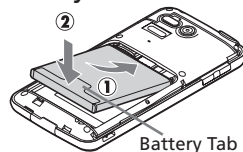
Before Using Handset

Accessories

- Battery (SHBEM1)
- AC Charger (SHCEJ1)
- Micro USB Cable (SHDDL1)
- microSD Card (complimentary sample)

Battery Installation

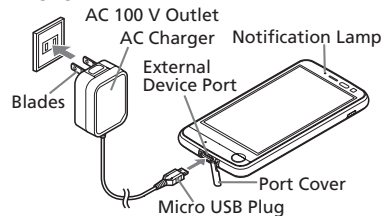
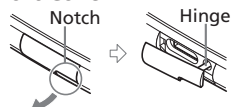
1 Remove Battery Cover

- Use notch to lift Battery Cover. Push up Battery Cover along edges to remove it.

2 Insert Battery

- With Battery tab (printed PULL) facing up, align Battery terminals with charging terminals.
- Take care not to get Battery tab caught between base and Battery Cover.

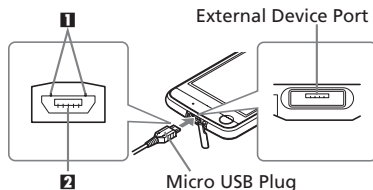
3 Replace Battery Cover

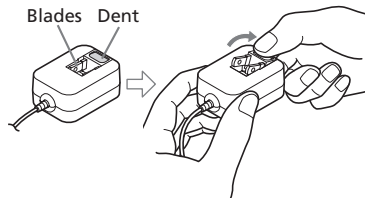
- Align Battery Cover with handset, then firmly press down along shaded areas.
- Close Battery Cover firmly. Debris trapped between gasket and base may expose handset to liquid/dust.

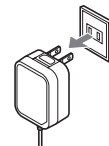
Charging (AC Charger)

- AC Charger is not water or dust proof. Do not charge Battery while handset is wet.
- Handset/AC Charger may become warm while charging.

❶ Open Port Cover

- Pull at notch to open Port Cover; pulling at the other edge may damage hinge.

❷ Insert Micro USB plug to External Device Port

- Do not insert Micro USB plug in the wrong orientation; External Device Port may be damaged. Confirm type and orientation of Micro USB plug, then insert it with tabs 1 on slot 2 side facing up.

❸ Extend blades and plug AC Charger into AC outlet

- Place thumb on dent and rotate hinge as shown.
- Notification Lamp illuminates while charging.
- Notification Lamp goes out when Battery is full.

❹ Unplug AC Charger and retract blades

❺ Remove Micro USB plug

❻ Close Port Cover

- Close Port Cover firmly. Debris trapped between gasket and base may expose handset to liquid/dust.

Important AC Charger Usage Note

- Retract blades after charging. Do not pull, bend, or twist the cord.

Handling External Device Port Cover

- Do not try to close Port Cover with hinge extended; may deform Port Cover and affect water/dust resistance.

When Notification Lamp is Flashing

- Battery is unchargeable; may be defective or simply at the end of its life; replace it.

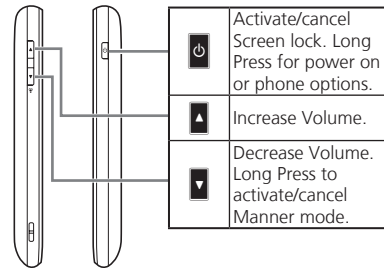
Charging Battery Outside Japan

- SoftBank Mobile is not liable for problems resulting from charging Battery outside Japan.

Handset Keys

Key	Function
⏻	Activate/cancel Screen lock. Long Press for power on or phone options.
▲	Increase Volume.
▼	Decrease Volume. Long Press to activate/cancel Manner mode.

Navigation Bar

Key	Function
↩	Go back/escape.
⌂	Return to initial sheet.
☰	Open Options menu.
⧉	Open application use history.

Basic Operations

Power On/Off

Power On

(Long Press)

Unlocking Touchscreen
Drag down .

After Powering On for the First Time
利用する ➡ *OK* ➡ *キャンセル* ➡ *OK*

Screen Lock
After a period of inactivity or Pressing , Display goes completely dark and Screen lock activates.
To cancel, Press ; lock screen appears.

Power Off

(Long Press) ➡ *電源を切る* ➡ *OK*

English Interface

In application sheet, *(設定)* ➡ *その他の設定* ➡ *言語と文字入力* ➡ *言語 (Language) を選択* ➡ *English*

My Phone Number

In application sheet, *(Settings)* ➡ *Profile*

General Notes

Electromagnetic Safety

For body-worn operation, this mobile phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

CE Declaration of Conformity

CE 0168

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that 107SH is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity for each model can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

Battery Cautions

Use specified Battery or Charger only.
Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not dispose of an exhausted Battery with ordinary refuse; always tape over Battery terminals before disposal. Take Battery to a SoftBank Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge Battery in ambient temperature 5℃ - 35℃; Battery may leak/overheat and performance may deteriorate outside this range.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.571 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide**. In this case, the highest tested SAR value is 0.356 W/kg. As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the Network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a handsfree device to keep the mobile phone away from the head and body.

*The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.
**Please see "Electromagnetic Safety" on P.48 for important notes regarding body-worn operation.

Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 22.0 mV.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

■ FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.462 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.538 W/kg.
This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at http://www.fcc.gov/oet/ea under the Display Grant section after searching the corresponding FCC ID (APYHRO00175).
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.phonefacts.net.

Customer Service

For information about SoftBank handsets or services, contact us at the following numbers.

SoftBank Customer Support

General Information

- From a SoftBank handset, dial toll free at 157
- From a landline/IP phone, dial toll free at 0800-919-0157

Customer Assistance (Repairs/Lost Handsets)

- From a SoftBank handset, dial toll free at 113
- From a landline/IP phone, dial toll free at 0800-919-0113

If you cannot reach a toll free number, use the number (charges apply) below for your service area:

Area	Number	Area	Number
Hokkaido Area Tohoku Area Hokuriku Area Kanto, Koshinetsu Area	022-380-4380	Tokai Area	052-388-2002
Kansai Area	06-7669-0180	Chugoku, Shikoku Area Kyushu, Okinawa Area	092-687-0010

Smartphone Technical Support Center

From a SoftBank handset, dial toll free at 151
From a landline/IP phone, dial toll free at 0800-1700-151

SoftBank Mobile Global Call Center

From outside Japan, dial +81-3-5351-3491 (toll free from SoftBank handsets)
If handset is lost/stolen, call this number immediately (international charges apply)

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ソフトバンクカスタマーサポート

総合案内

ソフトバンク携帯電話から 157（無料）
一般電話から フリーコール 0800-919-0157（無料）

紛失・故障受付

ソフトバンク携帯電話から 113（無料）
一般電話から フリーコール 0800-919-0113（無料）

IP電話などでフリーコールが繋がらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

東日本地域	022-380-4380（有料）	東海地域	052-388-2002（有料）
関西地域	06-7669-0180（有料）	中国・四国・九州・沖縄地域	092-687-0010（有料）

スマートフォン　テクニカルサポートセンター

スマートフォンの操作案内はこちら

ソフトバンク携帯電話から 151（無料）　一般電話から フリーコール 0800-1700-151（無料）

ソフトバンクモバイル国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡

+81-3-5351-3491　（有料、ソフトバンク携帯電話からは無料）

2012年8月 第2版発行 ソフトバンクモバイル株式会社
製造元:シャープ株式会社

TCAUZA240AFZA
12H 93.1 TR MK56②